

アップサイクル素材が地球を救う！

1 SDGs と企業の取り組み

近年、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)を念頭に置いた企業活動が求められてきています。

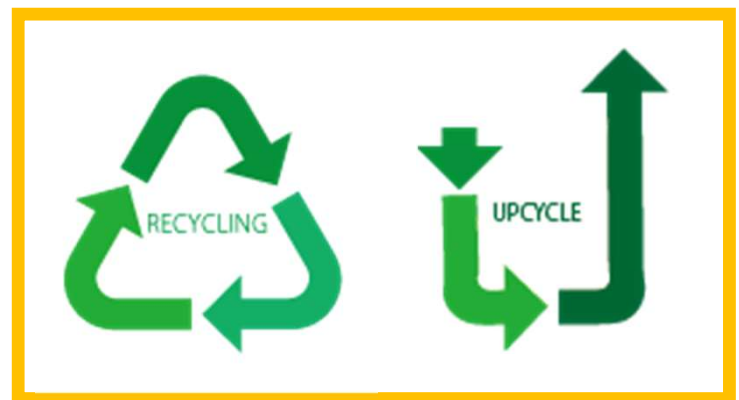
SDGsは、17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

食品廃棄物の有効活用は古くから行われてきており、豆腐製造時に発生する副産物であるおからの食品としての利用や、コーヒー抽出粕やしょうゆ粕の燃料や肥料への利用、ペットボトルの緑茶製造時に発生する茶殻の再生紙やプラスチックへの配合利用などが知られています。

2 アップサイクルと マテリアルサイクルの違い

「アップサイクル」とは、廃棄物や不要になったものに手を加えて、そのモノの価値を高めること。

「マテリアルリサイクル」は、食品廃棄物を従来の再利用でとどめるのではなく製品原料に変えること。



➡ アップサイクルはマテリアルリサイクルの技術開発の進化と発展的な考えとして生まれ、世界的な潮流へ

3 こんにやく芋から生まれたセラミドが人々の肌の乾燥を救う

こんにやくを作る過程で発生する飛び粉は廃棄処分に…。それをダイセルでは、植物由来セラミド(こんにやくセラミド)として飛び粉から抽出し、機能性表示対応の機能性素材として販売しています。こんにやくセラミドは、肌に対する機能性データがそろっており、0.6mg~1.8mg/日の摂取でヒトでの肌の保湿効果が認められています。機能性表示食品として受理されており、届出表示は、「本品には、こんにやく由来グルコシルセラミドが含まれています。こんにやく由来グルコシルセラミドは、肌のバリア機能(保湿力)を高めることが報告されています。肌の乾燥が気になる方に適した食品です。」という内容で登録されています。

[届出番号]E688



アップサイクル素材が地球を救う！

4 生活に取り入れることで自然と意識が変わり貢献へ

アップサイクル製品は次々と商品化されており、国民1人1人が毎日の生活に少しずつ取り入れることで身近に地球環境に貢献できる。投資家が環境配慮の対応を行う企業に積極的に投資する「ESG投資」も広がってきており、マテリアルリサイクルの技術を活用した商品がどんどん広がることでさらなる技術革新や新たな産業の創出が期待されます。

「アップサイクルセラミド」で商標を取得

ダイセルでは、アップサイクルの考え方を世の中への浸透を図るために、「アップサイクルセラミド」として登録商標を取得しました。
(登録6305125)
「アップサイクルセラミド」を使うことがエシカル消費につながることを意識してもらえるような活動を行います。

＼企業にとってのポイント／

「アップサイクルセラミド」がただのセラミドとは違うことをアピールができて、ブランド力向上に貢献

＼消費者にとってのポイント／

「アップサイクルセラミド」を使っている商品を使っていることでエシカル消費につながっていることを意識できる

「アップサイクルセラミド」を配合した
＼機能性表示食品「ピュアセラミド+」発売中／

<発行人>

株式会社ダイセル ヘルスケアSBU

〒108-8230

東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル TEL:03-6711-8213

〒530-0011

大阪府大阪市北区大深町3-1 グランフロントタワーB TEL:06-7639-7291

<お問い合わせ先>お気軽にお問い合わせください。

WEBサイト: <https://www.daicel.com/healthcare/>

E-mail : healthcare_info@jp.daicel.com

